

# 美杉山荘 建設プロジェクト

## 雑木林計画

この山は、40年以上前に植林された杉と桧の人工林でした。戦後に雑木林が薪炭用に伐採され、その後に需要が見込まれた杉や桧を植林した山が多いと聞いています。その後、輸入材に圧された国産材は急速に需要を失い、放置された人工林が増えていることは、周知の通りです。この山も、間伐や枝打ち等の手入れがあまりされていない、荒れ気味の山でした。日光が地上にわずしか届かないため、林の中は下草の生えない殺伐とした景色が広がっていました。和歌山の山荘建設時に、平らな部分の桧を伐採し、その後に美杉山荘の建設が始まりました。斜面部分の杉も1/4程切り倒し、山全体がずいぶん明るくなり草花も増えてきました。元の雑木林には戻せないものの、新芽や紅葉でもっと季節を感じる林にならないものかと、コナラやケヤキの苗を山の一角で育てています。学生達と“植林実習”出来る日が近づいています。



2008 今昔館展示模型



2007 西武庫団地リフォーム



2006 N氏の山荘建設



2004 琵琶湖別荘建設



2003 香住古民家移築



2002 大飯古民家移築



2000 朽木研修所離れ



伐採前の山の様子

モヤシのようにやせ細った桧の林でした。斧や鋸で一本ずつ伐採するに従って、徐々に空が開けて明るさが増します。“開墾”の気分です。



苗の養生場所

養生中の苗一覧

コナラ カエデ カツラ ブナ トチ ウメ  
ヤマサクラ ナナカマド クヌギ ケヤキ  
アズキナシ カマツカ ウラジロ クロモジ  
スモモ ヤマボウシ ナツツバキ コブシ 等 80 株  
何度かネットを破り鹿が侵入、葉や枝に食害を受ける。なぜかバラ科のサクラやウメの葉がよく食われる。



このあたりが美杉山荘の建設場所です。



新緑のトチ(左)とブナ(右)